

● 2008～2010年におけるオーストリアの水道情報

	2008年	2009年	2010年
総人口(千人)	8,337	8,363	8,388
給水ゾーン数	234	259	260
給水人口(人)	5,567,053	5,640,702	5,636,127
給水量(百万m ³ /年)	442	445	448
水源構成(水量ベース、%)	地下水・湧水 100%	地下水・湧水 100%	地下水・湧水 100%

50万3994立方メートルの水を供給した。また、水源としては、全ての小規模水道が地下水を利用していた。

③ 首都ウィーンの上水道
ウィーンの水はほぼ全てが湧水である。市の南西、下オーストリア州とシュタイアーマルク州にまたがるアルプス山地から取水された水は、2本の導水路を通じて自然流下で市内へと運ばれる。徹底した水源保全の効果もあって高い水質が維持されているため、浄水処理は行われていない。1873年に稼働した第1導水路「ウィーン第1湧水管」は全長120キロ、1910年稼働の第2導水路「ウィーン第2湧水管」は180キロである。地下水の利用は限定的で、導水路の修繕中や大規模な損傷時、または暑さから水需要が増加したとき以外は使われない。なお、市の湧水を含むオーストリアの水は、「オーストリア水法」によりその保全が義務づけられている。ウィーンでは30基の配水池を運用しており、総容量160万立方メートルは約4日分の使用水量に



西部の世界遺産の街、ザルツブルク。市中心部を流れるのはドナウ川の支流、ザルツァハ川

全水源は 地下水・湧水



● オーストリアおよび周辺の地図



● オーストリアの基本情報

首都	ウィーン(同市単独で一つの州を形成)
面積	83,879 km ²
人口	851万人(EU全人口の1.7%)
GDP	3.1兆ユーロ(2013年)
公用語	ドイツ語
EU加盟日	1995年1月1日
ユーロ導入日	1999年1月1日

① オーストリアの基本情報
「山岳の国、大河の国」と名付けられた国歌に象徴されるように、オーストリアの西部および南部にはアルプス山地が大きく広がる一方、標高の低い東部には、欧州第2の

長さを誇るドナウ川が流れる。2014年における農業、工業、サービス産業の対GDP比率は1・5%、26・8%、69・8%となっており、輸出入ともにドイツ、イタリアが主な貿易相手国である。政治体制として



●公益財団法人 水道技術研究センター 専務理事
安藤 茂



●同センター 総務部主任研究員
高橋 邦尚

は連邦共和制を採用しており、全部で9つの連邦州から構成される。

② オーストリアの飲料水事情
① 大規模給水ゾーン(Large Water Supply Zones)

オーストリアの飲料水は、100%地下水および湧水から得られている。給水ゾーンが10%増加しているにもかかわらず、居住者1人1日当たり飲料水消費量は08年から10年を通じて217リットルで一定のままであった。同じ期間において、居住者人口は1・23%増加しており、これは供給された飲料水の量が1・34%増加したのとバランスがとれている。オーストリアでは、生産された飲料水は260の給水ゾーンに供給され、総人口の67%に供給している。

② 小規模給水ゾーン(Small Water Supply Zones)
10年時点で、オーストリアには4570の小規模水道があり、これらは270万人の居住者(総人口の32%を占める)に対して1日当たり

出典
1.CIA World Fact Book. GDP - Composition, By Sector of Origin. <https://www.cia.gov/index.html>
2.Danubis. 2015. Water and wastewater services in the Danube Region. A State of the sector. Vienna. <http://sos.danubis.org/>
3.EUROPA. Countries, Overview: Austria. http://europa.eu/index_en.htm
4.Eurostat. <http://ec.europa.eu/eurostat/>
5.Federal Ministry of Health. <http://bmg.gv.at/home/Schwerpunkte/VerbraucherInnenengesundheit/Lebensmittel/Trinkwasser/>
6.Wien.at. Vienna's Water Supply. <https://www.wien.gv.at/english/>